

〔指定管理者制度導入施設〕〔A調書〕

事業評価調書〔途中評価〕（令和4年度）

1. 施設の名称等

施設名称	長崎県立対馬青年の家
所在地	対馬市峰町三根1186

事業所管	教育庁	生涯学習課
課(室)長名	山崎 由美	

総合計画上の位置づけ	基本戦略	1-3	長崎県の未来を創る子ども、郷土を愛する人を育てる
	施策	2	郷土を愛し、地域を支える心豊かな人材の育成
	事業群	④	子どもたちが直接自然と触れ合う体験活動の推進

2. 施設の概要

設置年月日	昭和50年10月6日
設置法令等	長崎県立青年の家条例（昭和50年10月6日）
設置目的	団体の宿泊研修及び野外活動を通じて健全な青年の育成その他社会教育の振興を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第30条に基づき設置する。
利用対象者等	利用対象者：特に制限なし 開業時間：午前9時～午後5時（ただし宿泊者があれば、この限りではない） 休業日：毎週日・月曜日（利用予約があれば開業）及び12月28日～1月5日（年末年始休業日）
施設内容	敷地面積：19,915㎡、建物面積：1,395㎡ 主な施設：本館、体育館、キャンプ場、運動場 宿泊定員：80名

◎利用料金表

区 分	単 位	金額(円)
宿 泊 棟	小中学生	100
	青 年	310
	外国人	1,360
	上記以外の者	730
テ ント	小中学生	50
	青 年	210
	外国人	520
	上記以外の者	310
体 育 館	1時間	210
研 修 室	1時間	100

◎減免規定（県立青少年教育施設共通）

区 分	減免額
1 県又は県教育委員会（県立青少年教育施設）が主催・共催による事業等を無料で開催するとき	全額
2 幼稚園・小学校・中学校・高等学校が学校行事として行なう宿泊研修等で利用するとき	全額
3 障害者（身体障害者・知的障害者）及び介護者が、青少年教育施設（宿泊型）を利用するとき	全額
4 各指定管理者が公益上その他特別の理由があると認めるとき	全額又は5割

類似施設の設置状況

	長崎県 対馬青年の家	佐賀県 黒髪少年自然の家	宮崎県 御池青少年自然の家
施設名称	長崎県 対馬青年の家	佐賀県 黒髪少年自然の家	宮崎県 御池青少年自然の家
設置年度	S50	S50	H3
定員	80人	210人	200人
R3利用者数(人)	4,406	16,975	10,075
指定管理者制度 導入時期	平成18年4月1日	平成18年4月1日	平成18年4月1日
R3県負担金額 単位：千円	15,078	64,221	81,570

県 予 算	区 分 (単位：千円)	平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (実績)	令和4年度 (計画)
		財 源	国 庫	0	0	0
	その他(使用料)	38	29	204	44	29
	一般財源	15,727	15,861	15,842	15,351	15,278
	事業費<A>	15,765	15,890	16,046	15,595	15,307
内 訳	管理運営負担金	15,472	15,786	16,046	15,078	14,878
	その他(備品購入費・改修費)	293	104	0	517	429
	人件費					
	合計<C=A+B>	15,765	15,890	16,046	15,595	15,307
	単位あたりコスト	2.0	2.1	2.9	3.5	

(説明) 「当事業による一人あたりの施設利用費用」=C÷(当事業によるR3施設利用人員：4,406人)

3. 指定管理者の概要

指定管理者の名称等	《所在地》	対馬市峰町三根 1 1 8 6		
	《名称》	対馬青年の家施設運営協会		
	《代表者氏名》	会長 比田勝 尚喜		
指定期間	令和 3 年 4 月 1 日 ~ 令和 8 年 3 月 31 日			
業 務	施設（設備）の維持・修繕等（ただし100万円以上の改修を除く） 利用団体の指導に関する業務、主催事業・施設事業に係る広報・PR活動、教育機関としての連携業務			
利用料金制	■ 導入済	未導入	選定方法	公募 ■ 非公募

4. 成果指標の達成状況及び管理運営に要した経費等の収支状況

成果指標の達成状況	①	アンケート調査による利用者満足度 (%)		(目標値の根拠)		<令和4年度実施における変更点>						
		②	年間利用者数 (人)		①利用者の大半が満足している と判断できる90%を毎年度維持							
			③	主催事業参加率 (%)		②過去5カ年の平均と前年度実績から算定						
				③定員の充足 ※いずれの目標値も指定管理者と協議のうえ設定								
実 績		単位		平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (実績)	令和4年度 (計画)				
①	a	目標値	%	90	90	90	90	90	90			
	b	実績値	%	99	99	99	100					
	c	達成率b/a	%	110	110	110	111					
②	a	目標値	人	6,600	7,300	7,500	6,500	5,600				
	b	実績値	人	8,506	7,418	5,598	4,406					
	c	達成率b/a	%	128	101	74	67					
③	a	目標値	%	100	100	100	100	100				
	b	実績値	%	178	179	120	118					
	c	達成率b/a	%	178	179	120	118					
指定管理者の収支状況		事業計画 (R3) (千円) 実績-計画		平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (実績)	令和4年度 (計画)				
利用料金	535	▲ 288	665	517	338	247	536					
県負担金	14,878	200	15,472	15,786	16,046	15,078	14,878					
その他	9,919	0	10,342	10,525	10,693	9,919	9,919					
収入計a	25,332	▲ 88	26,479	26,828	27,077	25,244	25,333					
支出b	25,332	▲ 1,690	25,019	25,208	24,853	23,642	25,333					
うち人件費	15,628	▲ 2,228	16,701	16,887	14,549	13,400	14,666					
収支a-b	0	1,602	1,460	1,620	2,224	1,602	0					
配置職員数 (人)	常勤 3	0	常勤 3	常勤 3	常勤 3	常勤 3	常勤 3	常勤 3				
	非常勤 1	▲ 1	非常勤 1	非常勤 1	非常勤 1	非常勤 0	非常勤 0	非常勤 0				

※この収支は指定管理者が行う管理運営にかかるものであり、この他に県が直接負担したのものとしては、「2. 施設の概要」の「県予算」の「その他」がある。

5. 令和3年度事業の実施状況・実績の検証

管理運営の状況	計 画		実 績	
	<指定管理者実施分> ①施設（設備）の維持修繕等 ②利用団体の指導に関する業務 ③主催事業に関する業務 ④施設事業に係る広報・PR活動 ⑤教育機関としての連携業務 <県実施分> ①業務の実施状況や管理経費等の収支状況調査の実施 ②県の広報媒体を活用した施設及び主催事業の周知			<指定管理者実施分> ①通常は業者に依頼していた修繕（壁面塗装、暖房取外し処分、樹木の間伐作業等）を職員が実施することで約79万円の経費を節約できた。 ②宿泊学習における各団体の目的を明確にし、その目的に沿った指導・支援を行うことができた。 ③コロナ渦において、休館・利用制限期間であっても、対面ではない内容に変更し、全事業を実施できた。 ④令和3年度より新たにLINEとInstagram等のSNSを開発し、情報発信の強化を行った。また、「対馬青年の家だより」を令和3年度より対馬市内の全小学生と幼児に配布し、青年の家による体験活動の楽しさを広めるよう努めた。 ⑤小中学校の宿泊学習や市教育委員会の各種事業との連携を図った。また、今年度は新規の共催事業として「放課後等デイサービス」と2泊3日の事業を実施した。 <県実施分> ①適正に実施されていることを確認した。 ②県広報媒体を活用し広報活動を実施した。

検 証																																												
管理運営の状況	○管理運営状況については、協定書に基づき適正に実施された。 ○利用者数については新型コロナウイルス感染症拡大の影響で4,406人となり、目標である6,500人を達成できなかった。 ○主催事業については定員に対する参加率が118%となり、目標を達成した。 ○施設利用者への満足度アンケートでは、100%が「良」という結果で目標を達成し、施設サービスについて非常に高い評価を得た。																																											
	収支計画・実績																																											
	<指定管理者実施分> (単位：千円)																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>主な項目</th> <th>計画</th> <th>実績</th> <th>増減理由・収支改善の取り組み等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入 a</td> <td>25,332</td> <td>25,244</td> <td></td> </tr> <tr> <td> うち利用料</td> <td>535</td> <td>247</td> <td></td> </tr> <tr> <td> うち県負担金</td> <td>14,878</td> <td>15,078</td> <td></td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>9,919</td> <td>9,919</td> <td></td> </tr> <tr> <td>支出 b</td> <td>25,332</td> <td>23,642</td> <td>新型コロナウイルス感染症拡大の影響及び経費削減による支出減</td> </tr> <tr> <td> うち人件費</td> <td>15,628</td> <td>13,400</td> <td></td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>9,704</td> <td>10,242</td> <td></td> </tr> <tr> <td> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>収支 a-b</td> <td>0</td> <td>1,602</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	主な項目	計画	実績	増減理由・収支改善の取り組み等	収入 a	25,332	25,244		うち利用料	535	247		うち県負担金	14,878	15,078		その他	9,919	9,919		支出 b	25,332	23,642	新型コロナウイルス感染症拡大の影響及び経費削減による支出減	うち人件費	15,628	13,400		その他	9,704	10,242										収支 a-b	0	1,602
主な項目	計画	実績	増減理由・収支改善の取り組み等																																									
収入 a	25,332	25,244																																										
うち利用料	535	247																																										
うち県負担金	14,878	15,078																																										
その他	9,919	9,919																																										
支出 b	25,332	23,642	新型コロナウイルス感染症拡大の影響及び経費削減による支出減																																									
うち人件費	15,628	13,400																																										
その他	9,704	10,242																																										
収支 a-b	0	1,602																																										
検 証																																												
○新型コロナウイルス感染症拡大の影響による利用者数の減により利用料収入が計画を下回った。 ○経費削減などの経営努力により一定の収益を得ることができた。																																												
指定管理者制度の導入効果を踏まえた施設の設置目的の達成状況の総合評価 B																																												
○令和2年度同様、新型コロナウイルス感染症予防対策として、休館期間を設けたこと、また県外利用者の施設利用を制限したことなどの影響もあり、利用者数が減少した。しかし、平成28年度～令和元年度における利用者数の目標達成率は平均128%と高く、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けてはいるが、設置目的を達成しているといえる。 ○利用者の満足度も良好であるとのアンケート結果が得られている。 ○主催事業については、事業内容を随時見直すなどして参加率の目標を上回ることができた。 ○収支面においては、広報・PR活動を継続的に実施したことにより、主催事業等の利用者が確保されたこと、また、細かな予算管理と徹底した経費節減が行われたことによって収益を上げることができた。 以上のことから、青少年を中心とした多くの県民に、自然体験活動及び社会教育活動の場を提供することができ、設置目的に則した成果を維持していると思われる。																																												

6. 令和4年度事業の実施にあたり見直した内容

内 容	
○目標設定と評価指数の設定：重要評価指数項目としては、①利用者満足度、②利用者数、③主催事業参加率、④調査の実施としており、今年度は特に②利用者数の増加と④調査の実施に注力したい。利用者数は、対馬島内の国立施設や民間企業と連携し、新規事業を実施予定である。調査の実施については、学術論文等を用いて定期的に勉強会を実施するとともに、事業目的を達成し子供の成長に寄与できたかという評価を記載した事業報告書を作成予定である。 ○業務改善協議の実施：6月と12月に実施予定であり、職員のアイデアをボトムアップするために、全員で①指導、②主催事業、③事務処理、④修繕、⑤備品、⑥プログラム開発、⑦活動プログラムについて協議する。その協議内容をもとに業務改善を行っていく。 ○キャンプ利用者の促進事業：令和7年度を事業最終年に設定し、今年度は対馬島内のキャンプ場調査と各キャンプ場の利用者に対する聞き取り調査を実施予定である。	

7. 令和4年度事業の評価

※評価区分（a：行われている、b：一部行われていない、c：行われていない）

視点	評価	判定理由
指定管理者の行う管理運営等に関する評価	a	全体の利用者に対し、青少年の利用率が66%、また宿泊の利用率が25%と新型コロナウイルス感染症拡大の影響で例年より利用率は低下しているが、設置目的を概ね果たしている。
・施設の設置目的にあった管理運営が行われているか。	a	目的に則した利用料金設定と減免基準を設けており、住民の公平かつ平等な利用を確保している。
・住民の公平かつ平等な利用の確保が行われているか。	a	利用者アンケートを実施し、利用者ニーズを取り入れたサービスの提供に努めている。また、アンケート結果も満足度が非常に高い。
・利用者に質の高いサービスの提供が行われているか。	a	施設・設備の日常点検・定期点検は協定書に従って適切な管理が行われている。
・施設の設備の維持管理は適切に行われているか。	a	利用者確保により収入の確保について努めている。
・収入の確保に向けた取り組みが行われているか。	a	経費削減により収益を上げている。また、定期的に予算執行状況を把握し、適切な予算執行に努めている。
・経費節減に向けた取り組みが行われているか。	a	
(その他の観点)		

	視点	評価	理由	
施設の在り方についての評価	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民ニーズに照らして、事業の必要性が薄れていないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ a. 薄れていない b. 一部薄れている c. 薄れている 	年間の利用者は4千4百人と新型コロナウイルス感染症拡大の影響で例年より利用者が減少したものの、学校等の宿泊学習が盛んに行われている。また、一般の利用者に対し、自然体験活動の重要性を認識させる事業を実施しており、必要性は高いと思われる。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業を取りまく環境、経済情勢などの変化に適應しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ a. 適應している b. 一部適應していない c. 適應していない 	少子化により、主な利用者である児童生徒が減少する中、散策や軽スポーツ交流会等幅広い年齢層に対応できる事業等の展開により利用者数を維持している。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 市町または民間に移管・移譲することが適當（可能）ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> a. 適當（可能）でない ■ b. 一部適當（可能）でない c. 適當（可能）である 	地元利用が99%と高く、地元市において施設を管理することが望ましいが、地元移譲の協議は、市町の財政状況等を踏まえながら、慎重に行うべきである。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県の負担や業務量に見合った活動結果が得られているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ a. 得られている b. 一部得られている c. 得られていない 	協定に定められた施設の維持管理、指導業務、主催事業等を実施し、概ね計画どおりの活動結果が得られている。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者制度以外で、同一の県負担や業務量でより大きな活動結果が得られる手法に代えられないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ a. 代えられない b. 一部代えられない c. 代えられる 	社会環境に応じた柔軟性のある主催事業の展開、経費節減の実効性など指定管理者制度が有効に機能している。
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者制度は、施設の設置目的の達成に十分寄与する手法となっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ a. なっている b. 一部なっていない c. なっていない 	収支状況も概ね安定し、良好な施設運営、サービスの提供により、利用者の満足度も高い。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業効果をさらに上げる余地はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ a. 余地はない b. 一部余地がある c. 余地がある 	コロナ禍による休館・利用制限期間中であっても、体験活動確保の観点から、対面ではない事業内容に変更し、全事業を実施した。
	<p>（その他の観点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設の無償譲渡について、対馬市からの要望は無い。 ○地元市として青少年教育施設の必要性は認めながらも、市の行財政改革に基づき、市有施設の整理等を推進していることなどから、今後も移譲について進展が見込まれるとは言い難い状況であるが、継続して地元自治体と協議していく。 ○今後、施設の設置目的や国、市町における類似施設等の設置状況を踏まえ、施設設置の意義や県民ニーズ、施設等の維持管理・更新などの長期的視点で、施設の必要性について検討を進めていく。 			

8. 令和5年度事業の実施に向けた方向性

区分	現状維持	改善	移管	廃止
<p>（説明：令和5年度事業の実施に向けた方向性の理由・見直しの内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用者獲得のための新規事業を実施：令和7年度までに、新規の主催・共催事業を5事業程度実施予定である。新規事業を実施しつつも、既存事業の改善等を行い、現代のニーズに合わせた事業展開を行いたい。具体的には、令和7年度までに、段階的に他機関との連携事業や地域への出前事業、幼児向け事業、夏休み期間中の事業等を実施予定である。 ○事業報告書の作成：令和4年度から令和7年度にかけ、主催事業の報告書を作成予定である。本報告書作成の目的は、事業を通して子供の成長に寄与できているかを確認するために、事業目的の達成度に対するアンケート調査を行い数値化する。そして、その評価に対する要因を明らかにすることで今後の事業に活かすことを目的としている。本報告書は、①事業目的達成度以外にも、②全体満足度や③活動満足度、④参加状況、⑤SNSによる市場評価、⑥事業コストの項目を設定し、それら全ての項目の評価を数値化し報告予定である。その報告書の評価（数値）を令和5年度から活かすことができるよう報告書に対する協議も重ねていきたい。 ○新規活動プログラムの発案：令和7年度まで、毎年1活動ずつ増やしていく予定である。令和4年度は準備期間とし、令和5年度から毎年1活動ずつ合計3つの活動プログラムを発案予定である。 ○キャンプ利用者の促進事業：令和7年度を最終年度とし、令和4年度は、対馬島内のキャンプ場調査と各キャンプ場利用者への聞き取り調査、令和5年度は、申請書類の簡素化、キャンプ道具の整備、広報強化を行う。最終的にはキャンプ事業の実施と安定的なキャンプ利用者の確保を目指す。 				